

談話室

産経新聞 令和2年(2020年)9月18日(金)

101歳曾祖母に玄孫見せたい

大学生 安住沙耶 22

大好きなひいおばあちゃん

が、来月末に101歳を迎える。笑顔のすてきな彼女は、私を母の名前で、母を祖母の名前で呼ぶことがある。

長寿故に親戚が多く、結婚相手や子供、孫らが一堂に会する際、ひいおばあちゃんは今も誰が誰なのか把握できていないのである。

しかし年に2回ほど、直接、ひいおばあちゃんと対面すれば、私の名を呼び、「大きくなったね」と言

い、私からは近況などを伝える。

「高校を卒業して、先生になるために大学に行くよ」「ついに20歳になった」「教員採用試験に合格したら先生になれるんだ」など。

だが今年は、まだ会えていない。恒例の親戚の集まりも中止となった。

夢は、ひいおばあちゃんを結婚式に招待して、さらに玄孫を見せてあげることだ。(大阪府寝屋川市)